

令和2年度・3年度幼小連携・接続研究事業 実践報告

# 接続期の子どもを支えるもの

～雲南市立斐伊小学校区の取組をとおして～



写真：交流活動での一場面（一緒に踊る1年生と近隣幼児教育施設の年長児）

## 本報告書の特徴

- ☆ 雲南市や安来市、大田市で開催された幼小連携推進に係る研修会で使用したPowerPointのスライドをもとに構成しています。そのため、スライドをご覧いただくだけでも実践の概要をお分かりいただけます。
- ☆ 本実践にかかわった多数の幼児教育施設職員や小学校教職員の「生の声」をお届けするため、感想集を載せています。感想集に本実践の成果がたくさん詰まっています。

雲南市立認定こども園 斐伊こども園

雲南市立斐伊保育所

雲南市立斐伊小学校

（協力）社会福祉法人 四ツ葉学園 四ツ葉学園保育所

## はじめに



## おことわり

この報告書は、研究指定を受けた三つの教育施設を代表して、雲南市立斐伊小学校でまとめたものです。そのため、小学校側の目線で記載しています。予めご了承ください。

## はじめに

雲南市立斐伊小学校は、雲南市の旧木次町にあります。校区には三つの幼児教育施設があります。斐伊小学校と隣接している斐伊こども園は幼稚園型の認定こども園です。二つの保育所のうち、斐伊保育所は公立、四ツ葉学園保育所は私立です。斐伊小学校と各幼児教育施設は大人の足で徒歩10分圏内にあります。

近年、斐伊小学校には20数名から30名弱の児童が就学してきます。そのうち8割強が近隣の幼児教育施設の出身です。したがって、斐伊小学校が幼小連携を考えると、主な連携先は近隣の3施設となります。

この度の「幼小連携・接続研究事業」は、斐伊こども園と斐伊保育所、斐伊小学校の三つの教育施設が指定を受け、研究を進めてきました。そして、研修や交流活動などには四ツ葉学園保育所にも協力していただき、一緒に取り組んできました。

## 研究の動機（研究の目的）

県内多くの学校がそうであるように、斐伊小学校でも学校経営上の重点目標の一つに「特別支援教育」を位置付けています。特別支援教育コーディネーターや特別支援教育部を核として、県や市に配置していただいたサポートスタッフとともに全校体制で取り組んできました。

これまで特別支援教育に取り組んできた中で、「特別な教育的ニーズのある児童の幼児期の姿が見えにくいこと」が課題の一つとして挙げられます。そこで、幼小連携を進めることで情報共有をしやすい環境を整え、特別な教育的ニーズの早期把握と早期支援開始を目指したいと考えました。

不登校傾向のある児童の存在も気になっていることです。入学して間もない時期に保護者と離れがたいというのではなく、年度の途中からとか、少し学年が上がってから登校を渋るようになる児童がいます。不登校や不登校傾向の要因は様々ですが、就学時の段差を緩やかにすることで、不登校傾向を示す児童を減らすことにつながるのではないかと考えました。そのためにも、幼小連携を進める必要があると考えました。

## はじめに

雲南市立斐伊こども園  
R3在籍児数：34名 5歳児：18名

雲南市立斐伊保育所  
R3在籍児数：67名 5歳児：10名

社会福祉法人四ツ葉学園保育所  
R3在籍児数：95名 5歳児：17名

その他の幼児教育施設

8割強

雲南市立斐伊小学校

全校児童数：1,444名  
R3年度1年生：23名  
通常の学級：6学級  
特別支援学級：2学級

## 研究の動機

- 特別な教育的ニーズのある子どもたち
  - 1クラスの5分の2

ニーズの早期把握

幼小連携の推進

- 登校をしぶる子どもたち
  - 2学期になって集団登校できなくなったYさん

現在取り組み

校区の強み  
(近隣に3つの幼児教育施設)

## 全校体制で取り組みたい

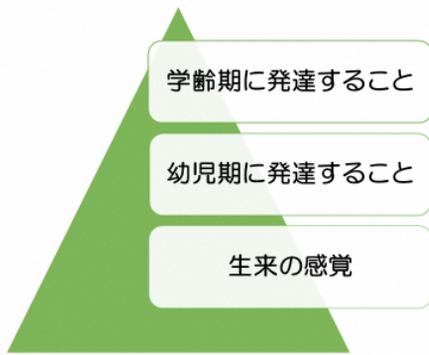
「だれもが担任」

「幼小連携」を校内研究として取り組むことに理解が得られるか？

「特別支援教育」に係るテーマなら理解が得られるはず！

「発達の連続性」でとらえよう！

## 発達の連続性でとらえる



## 全校体制で取り組みたい

幼小連携は、「1年部(低学年部)が取り組むことだ」と考えられ、1年部(低学年部)のみに任されてしまうことがあります。しかし、1年生が入学してくると、生活科や授業以外の教育活動をとおして、全ての教職員が1年生と関わりをもつこととなります。また、斐伊小学校の「めざす教職員像」に、「『だれもが担任』という意識で取り組む教職員」があります。そこで、幼小連携にも全教職員で取り組みたいと考えました。そのためには、全教職員のベクトルをそろえる必要がありました。そこで、教職員共通の課題である「特別支援教育の推進」にスポットをあて、「発達の連続性」としてとらえることにしました。

ベクトルを合わせるため、特別支援学級担任を講師として校内研修をしました。その研修で使用した資料は、インターネットで検索するとすぐに見つかる「発達の木」の図でした。「発達の木」は、療育やリハビリテーションの分野でよく使われる「感覚統合」の考え方を図に表したものです。

この研修をしたことで、特別支援教育について考えることと、幼小連携について考えることは、「発達が連続しているという点で同じである」という共通認識に立つことができました。

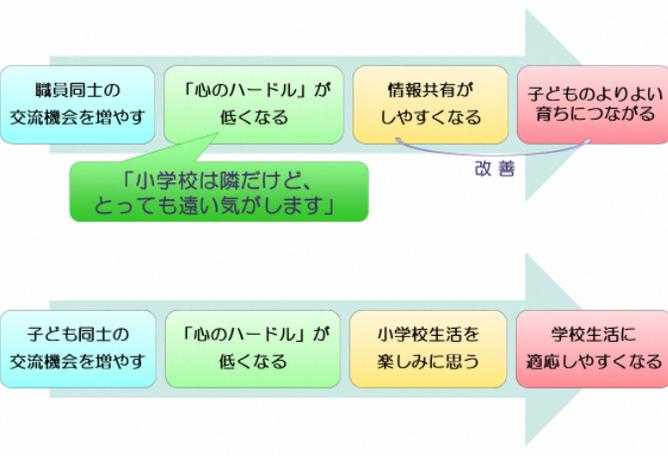
## 基本的な考え方（研究仮説）

研究の基本的な考え方について説明します。第一に職員同士の交流機会を増やすことを考えました。そうすれば、互いが感じている緊張感や遠慮などの「心のハードル（精神的な垣根）」が低くなり、風通しの良い関係を築くことができます。そうなれば情報共有がしやすくなり、得た情報をもとに子どもを取り巻く環境を改善すれば、子どものよりよい育ちにつながるだろうと考えました。

数年前、斐伊こども園で経営評価をされたとき、職員から、「小学校は隣だけど、とっても遠い気がします。」という声があったそうです。以前から小学生と園児との交流活動や管理職同士の行き来があったにもかかわらず、そのような発言があったのです。表面上の交流活動になっていたのかもしれませんが、小学校側の思いだけで進めてきたのかもしれない。

基本的な考え方の第二の柱は子ども同士の交流機会を増やすことです。これまでにも、生活科の時間に交流したり、斐伊こども園と一緒に「なかよし運動会」を開催したりしてきました。本研究では、従来からあるそれらの活動のあり方を見直し、活動の目的や目指す子どもの姿などについて教員と保育者が十分に共有した上で取り組むことを大切にしたいと考えました。それによって、小学校を楽しむ気持ちが膨らみ、小学校生活に適応しやすくなるだろうと考えました。

## 基本的な考え方



## 2年間の取組によって

職員間の「心のハードル（見えない壁・垣根）が下がった。

「斐伊の子」を一緒に育てていこうという  
雰囲気が醸成された。

安心して遊ぶ姿が見られたり、小学校生活を  
楽しみに思う気持ちが膨らんだ。

保護者の安心感・信頼感が高まった。

## 2年間の取組によって（成果）

具体的な取組を紹介する前に研究の成果を紹介します。

様々な取組により、職員間の「心のハードル（垣根）」は確実に低くなりました。研究を始める前、幼児教育施設の担任が小学校に電話をかけることはとても緊張することで、管理職が代わって電話をかけることがよくあったそうです。しかし、職員同士が関わる機会が増えるにつれ、以前のようなことは少なくなってきたそうです。また、子ども同士の交流活動の場や研修会等で顔を合わせた際に、話しやすい雰囲気が高まりました。

「心のハードル」が低くなったことで、「斐伊の子」を一緒に育てていこうという雰囲気が醸成されました。その結果、子どもたちがより安心して遊ぶ姿が見られたり、小学校生活を楽しみに思う気持ちが膨らんだりしました。さらには、幼小が連携している様子や子どもたちの姿を見て、保護者の安心感・信頼感が高まっています。実際、斐伊小学校の学校評価における「保こ小の連携」の項目では、1年生の保護者の評価が4点満点中3.6と高評価となっています。

## 取組の概要

- 管理職会
- 顔写真交流
- 全教員による幼児教育施設訪問
- 合同研修
- 栄養教諭による保育所調理室での自主研修
- 保育公開日・学習公開日・校園所内研修の相互案内
- 接続カリキュラム作成・スタートカリキュラム修正
- 幼児と児童の交流（5歳児と1年生・5年生）

## 具体的な取組

取組の概要は左のスライドにまとめています。

顔写真交流というのは、各施設の全職員の顔写真を1枚にまとめ、交換することです。研究初年度は始まってすぐに臨時休業となり、職員同士も行き来することができなくなりました。そこで、全職員の顔写真を1枚にまとめ、交換することにしました。それにより、マスクに隠れた顔だけでなく、名前や担当業務も分かるようになりました。

保育公開や授業公開、園所内研修、校内研修は互いに案内し、可能であれば参加するようにしました。

夏季休業を利用して、小学校教員が幼児教育施設を訪問するようにしました。訪問先は、次年度就学予定の子どもが在籍している幼児教育施設です。訪問期間のうち全教員が、都合のつく日に出かけ、最低1時間は参観することにしました。他の出張等と重なり1カ所しか行けなかった教員もいれば、対象となった全ての幼児教育施設を訪問した教員もいました。

顔写真が各幼児教育施設に掲示されていたことで、年長児は斐伊小学校の教員の顔を覚えていたそうです。そのため、保育参観をした日には「今日、小学校の先生たちが見に来てくれたよ！」と家に帰ってからうれしそうに話す子どもがたくさんいたそうです。

## 授業公開・保育公開

- 授業公開日や園所内研修会などを案内し合う。
- 夏季休業中に教員が年長児の保育を参観する。



## 「食」における連携・接続

- 栄養教諭が保育所で5日間の自主研修
- 調理スタッフの一員として
- 栄養士との意見交換
- 食の指導
- 4歳児・5歳児との会食
- 5歳児とのクッキング



研究1年目の夏、栄養教諭も斐伊保育所と四ツ葉学園保育所を訪問し、保育を参観しました。その際には、年長児の様子を見るだけでなく、給食を試食させてもらったり献立表をいただいたりもしました。この時、栄養教諭ならではの視点をもって訪問したことがきっかけとなり、研究2年目の夏季休業中に、斐伊保育所での自主研修を行いました。

五日間の実習をとおして様々な学びがありましたが、特に、保育所の栄養士や調理師と意見交換ができたことで多くの気づきを得たようです。今後、雲南市学校給食センターにおいて、接続期の給食づくりに反映されることと思います。

様々な取組をしてきましたが、それらの中で一番お勧めしたいのが合同研修会です。

研究1年目の夏期合同研修会は、午前中に斐伊保育所の保育を参観することから始まりました。参観時間は2時間程度でした。幼児教育施設職員からは4、5名程度、小学校からは全教員が参加しました。午後のグループワークでは、午前中の参観で見つけた「年長児のステキな姿」を「幼児期の終わりまでに育ってほしい『10の姿』」で分類しながら話し合いました。

斐伊こども園の勝田園長は「『心のハードル』が下がり始めるきっかけになったのは、1年目の夏期合同研修会だったと思う。あの研修が終わってから、保育教諭が『自分たちがしている保育の仕事や保育観を小学校の先生方に分かってもらえた気がする。これからも自信をもって保育をしていきたい。』とうれしそうに話していた。」とおっしゃっています。

研究2年目の夏は、参観会場を斐伊こども園に変えて行いました。午後のグループワークでは、「10の姿」ではなく、斐伊小学校の3つの「めざす子ども像」で分類しながら話し合いました。小学校の「めざす子ども像」で分類したことで、幼児教育と小学校教育とが確実につながっていることを確かめることができ、とても有意義な研修になりました。

2年連続して行った夏期合同研修会にはポイントがあります。

まず、子どもの「ステキな姿」を見つけながら参観することです。特別支援教育の「偏ったフィルター」をとおすと、子どもの「気になる姿」ばかりに目がいきがちです。しかし、本来、特別支援教育は、子どもの「強み」や「できていること」に着目して行われるものです。「ステキ見つけ」は良質な特別支援教育の提供につながります。また、「ステキ見つけ」をとおして、幼児教育の魅力や意義、奥深さなどに気づくこともできます。

### R2 夏期合同研修会

- ① 斐伊保育所での保育参観
- ② グループワーク  
幼児期が終わるまでに育ってほしい「10の姿」で分類

### R3 夏期合同研修会

- ① 斐伊こども園での保育参観
- ② グループワーク  
・ 斐伊小の「目指す子ども像」で分類



## 2つの夏期合同研修会のポイント

### 1. 「ステキ見つけ」

- 偏った特別支援教育では「気になる姿」ばかり見てしまう。
- 「ステキ見つけ」を繰り返すと、「強み」を生かすことを考えたり、「できていること」をさらに伸ばすことを考えたりするようになる。
- 「ステキ見つけ」をすると、幼児教育の魅力や意義、奥深さなどに気づくことができる。

### 2. 同じ時に、同じ場で、同じ子どもを見る。

- 話が弾み、親しくなれる。
- 互いの保育観や教育観などについての理解が進む。

## 接続カリキュラムの作成手順

1. 観点（どこを目指すか）を決める
  - ・斐伊小の「目指す子ども像」

2. 各期における子どもの姿の設定
  - ・巻末資料参照

3. 幼小担当者による協議

隠岐：こか保育園・五箇小学校

◎ コミュニケーション力向上が  
校区の課題

↓  
「聞く」「話す」「動く」の3観点で  
接続カリキュラムを作成

4. 各施設における共有

## 取組のカギ

1. 管理職の連携・協働
  - ・定例管理職会

2. 全校体制
  - ・ファイル所持

3. やらない理由を探さない  
できる方法を考える

のよてい(4/26(げつ) ~ 4/30(い))

スタートカリキュラム<来週のねらい>教科の学習  
並びにがんばって取り組むことができる。

1 2 3	27にち(か)	28にち(すい)
にち(げつ)	新なかよし班での そうじ開始	セーフティリ ダーの準備式 (8:20~8:35)
いすう おなじみずのなか をさがそう	こくご ・あめですよ ・ひらがなをかこう	さんすう ・かきかきせ ・せんでむす
こくご ・ことはあつめをし よう	さんすう ・6~10のかずを かこう	せいめつ ・なかよし (1・2組)
たいいしく のしくからだを	すこう ・ねんどとなかよし になろう	せいめつ ・なかよし (1・2)

## できる方法を考える

- ① 安来市立S小学校区：
  - ・3学期に交流会をすることに決定。
  - ・冬休み中に幼小担当者が集まって相談。
- ② M保育園（雲南市）
  - ・就学先8校を巡るバスツアーを実施。

## 幼小接続カリキュラム

「基本的な考え方」のところを見返していただければ分かると思いますが、本研究はカリキュラム作成ありきでスタートしたわけではありません。様々な取組を進めるうちに、「やはり、接続カリキュラムがあったほうがよい。」という思いに至ったため作成に至りました。

接続カリキュラムを作成する際、初めにすることは観点（どこを目指すか）を決めることです。本研究事業のもう一つの実践地域である隠岐の島町五箇地区では、校区の課題であるコミュニケーション力の向上を目指し、「聞く」「話す」「動く」の3観点を設定されています。斐伊小学校区では、斐伊小学校の「めざす子ども像」である「学び合う子」「助け合う子」「元気な子」の三つを観点にしました。

観点が決まると、年長の9月から1年生の1学期末までを3期に分け、各期に現れてほしい子どもの具体的な姿を描きました。接続前期は幼児教育施設担当者で、接続中・後期は低学年部で原案を作成し、合同協議で系統性等を確認しました。

## 取組のカギ

この2年間の取組は大きな成果につながったと考えています。その取組のカギとなったのは、左のスライドにある三つだと思います。

本研究を進めるにあたり、定期的に管理職会を開き、研究の方向性や取組内容について共通理解を図るようにしました。それにより、各教育施設で管理職のリーダーシップの下で取組を進めることができました。

校内研究として全教職員で取り組んだ斐伊小学校では、教員だけでなく、事務職員や校務技師等も接続カリキュラムやスタートカリキュラムを綴じたファイルを所持し、各自に関わる学習活動を確認できるようにしました。1年生の学習活動に教職員自身に関わったり担任している学級の児童に関わったりする時間を確認し、準備をしたり事前指導をしたりしました。また、こども園や小学校で行われている読み聞かせに校園長が行き来しているだけでなく、学校司書等が出かけていることも全校体制での取り組みの一つと言えるかもしれません。

本研究はコロナ禍の影響を受けながら進めてきました。しかし、先に紹介した「顔写真交流」など、その都度できることやできる方法を模索しながら取り組んできました。このことを雲南市や安来市で開催された研修会で紹介したところ、各地で新たな取組が始まったという報告を受けています。

## 接続期の子どもを支えるもの

「一番印象に残ったのは『たくさん大人の目に見守られながらも、子どもたちが安心して遊びこんでいた』というところ」

(合同研修会後の感想より)

「小学校から案内が来るんですね。卒園しても1年生のことを気にかけてもらってありがとうございます。うれしいです。斐伊保育所でよかったです。」

(授業公開日で出会った保護者の声)



## 接続期の子どもを支えるもの

研究2年目の夏、斐伊こども園の園庭には水や土、虫など関わって遊びこむ、いつもどおりの園児の姿がありました。いつもと違っていたのは、その周りを数十人の大人が取り囲んでいたことでした。その日、初めて合同研修に参加した県の幼児教育アドバイザーは、大人同士が自然に会話している様子や園児の姿を見て、「保護者が参観しているのかと思ったら、小学校や保育所の先生方だったので驚いた。」「あれほど大勢の大人がいる中で遊びこむことができるのは、子どもが安心してからこそできることだ。」とおっしゃっていました。

コロナ禍の下で挙行了した令和3年度の入学式は、人数制限をしたため、校内で参加したのは一部の学年と限られた教職員だけでした。そのような中でも、会場に向かう1年生を他の学年の担任や児童が「おめでとう！」と見送る姿がありました。(写真参照)

これらのことから、接続期の子どもを支えるのは、やはり「安心感」であると思います。

## 先進地に学ぶ

1月11日の午後、横浜市立恩田小学校長の寶來生志子先生をお招きし、「木次町の幼小連携を考える会」を開催しました。研究先進地での幼小連携の様子を知ったことで、わたしたちの研究の方向性が間違っていなかったことを確認することができました。また、寶來先生からは、スタートカリキュラム作成上のポイントや「子どもは有能な学び手である」「子どもを育てるのではなく、子どもが育つ学校を目指す」「接続期には安心感とワクワク感があることが大切」など、様々なことを教えていただきました。

## 今後の課題

今後は、寶來先生から教えていただいた「ワクワク感」も大切にしながら取組を継続し、その成果を経年で検証していきたいと考えています。

## おわりに

この2年間、わたしたちの研究の伴走者として様々な指導・助言をしてくださった松江教育事務所 川上洋子指導主事、遠方からお越しいただき新たな視点を与えてくださった寶來生志子校長先生、本事業を企画してくださった島根県幼児教育センター、話題提供の機会を与えてくださった雲南市、安来市、大田市の各教育委員会、そして、本研究を様々な立場から支えてくださった関係者の皆様にご心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 先進地に学ぶ

～木次町の幼小連携を考える会～  
講義・演習

「幼児教育と小学校教育に  
虹をかけよう！」

講師

横浜市立恩田小学校

校長 寶來 生志子さん

(学習指導要領生活科の解説執筆者)



※ 島根県教職員互助会の助成を受けて開催

## 今後の課題

- ・連携・接続の取組みを継続していくこと
- ・取組みの成果を経年で検証すること
- ・安心感とワクワク感の両立

## 2年間の取組を振り返って心に残ったこと (NO.1)

雲南市立斐伊小学校

今回の連携・接続研究事業を通して印象に残っていることは、夏休みの暑い日差しの中で保育所、こども園の先生方と一緒に子どもたちを観察したことです。いつもは特別支援教育にかかわる観点から厳しい気持ちで児童の様子を見ることが多いのですが、保育所や園の先生方と談笑しながら子どもたちの姿を見ると、園庭の工夫や広がり、水の感触を味わっている子どもたちの気持ちを素直に感じることができました。新たな視点で子どもたちを観ることができた貴重な体験でした。

夏休みに次年度入学児童が在籍する幼児教育施設へ見学に行き、保育の様子を見させていただいたことが、心に残っています。先生方の温かいかわり方を学んだり、子どもたちがのびのびと活動する姿を観察したりすることができました。訪問させていただいたおかげで、先生方と気兼ねなく話したり、子どもたちが就学時健診の時に「前に会ったよね。」と話しかけてくれたりして、幼小の垣根が低くなったと感じます。これからも、できそうなことを継続できたらいいなと思っています。

以前勤務していた学校で、「ペア学年やペア児童」を作り、様々な活動を行ったことがあります。子どもたちはみるみる仲良くなり、教職員のつながりも強固なものになりました。

斐伊小学校では、それよりも広い範囲の「幼小」において、連携・接続事業に取り組みましたが、斐伊小学校及び校区内の3つの幼児教育施設との関わりが密になることで、たくさんの成果が表れたと実感しています。中でも、次の2点は大きな変化だと思います。

- (1) 幼小の先生方が実際に会うことで、心が近づいたこと。
- (2) 合同研修会等を行うことで、同じ方向を向いて子どもたちに向き合い、子どもたちの教育的ニーズに応じて支援や環境づくりができ、子どもたちがよりのびのびと生活し、力を発揮できたこと。

これらの取り組みは今後も続け、さらに、子どもたちの成長を長いスパンで捉えて地域全体で育てられる取組まで広げられると良いなと思います。

これまでは、幼児教育・小学校教育それぞれで、やるべきことを一生懸命やればよいと思っていました。しかし、この研究に係ることができて、幼児教育の目指すものや幼児の姿を知ることの大切さを痛感しました。入学児童のもっている力や、その心理を知ること、どのようなステップで小学校生活にスムーズに移行させるのか、入学児童が幼児教育で付けた力を、どう生かしどう広げ深めるのかを考えることができます。小学校入学が0からのスタートではないという言葉が心に残っています。

小学校職員が幼児教育をより学ぶことで、スムーズに移行できるというメリットだけでなく、幼児教育の体験を低学年の教科学習にどう生かしていけるかを研究できるのではないかと思います。

本事業を通して、子どもの成長には「就学」という境目はなく、発達段階に即したかわりが必要であることを再認識するとともに、生涯の基礎となる幼少期の教育に携わることの重みを感じました。今後は、「接続」よりも「一貫」に近いイメージを持ちながら子どもたちと向き合いたいと思います。

栄養教諭として、これまで小中学生の給食管理と食の指導を中心に携わってきました。この事業で、保育所の調理場に入り、実際に乳幼児期の給食作りを通して、乳幼児の給食の量や味付け、食環境等について学ぶことができました。そしてこの取り組みにより、乳幼児期から青年期までを意識した食育の視点をもつことができ、今後は保育所給食との繋がりを意識した学校給食を提供していきたいと思っています。

これまで幼小連携というと1年生担任と年長児担任のつながりが大事だと思っていました。そして、幼児教育施設を訪問する時には、子どもたちが小学校でうまくやれているかという視点で見えていました。そんな自分の固定観念が変わったこの1年(1年目なので)。「素敵などころを見つける」そんな肯定的な見方で参加した夏の保育参観。どの幼児教育施設でも子どもたちは勿論のこと、子ども主体の学びを支える先生方の素敵な姿も印象的でした。

高学年児童の中には自己肯定感の低い子どもが割といます。子どもの力を信じ、しっかりと子どもの「今」を価値づけていこうと、同じスタンスで周りの大人が関わり続けていけば、巡り巡って子どもの自己有用感につながるのではないかと感じました。

保育園やこども園の子どもたちの保育に先生方が普段から体を張って取り組んでおられる姿に感心し、本当にいつ休憩をとられるのかなと思ったりしました。子どもたちの様子をたくさん見て、保育のねらいを聞いたり、専門家の先生方の話を聞いたりすることができ「接続」の大事さを知る研修となりました。また、職員のみなさんと気軽に情報交換できる関係になれたのがよかったです。2学期に今度上がってくる子どもさんの様子を聞きに行く機会があった時に構えずに安心してうかがえました。ありがとうございました。

幼小をつなぐことの大切さを学びました。1年生の道徳で資料「にじがでた」を読んだ時のこと。「にじのうたをうたいました。って書いてあるよ。」「にじのうた、知ってるよ。」と話す子どもたち。「どんな歌？」と聞くと、次々と歌い出し、笑顔いっぱいの全員合唱になりました。入学してから2か月、「美しいものや清らかなものに感動する心情を育てる。」というねらいを達成するのは難しいと思っていましたが、「にじのうた」から幼児教育施設での体験や感動(「虹を見て、きれいな、わくわくする、のぼってみたい、歩いてみたい。」本物に触れて心が揺さぶられたこと)を思い出し、その思いを歌「にじ」を通して、全員が共有することができました。『小学校は0からのスタートではない。』といわれます。幼児教育施設訪問や先生方との語り合いでその意味が分かったように思います。幼児教育での学びを小学校で安心して発揮できるように、うまくつないでいくことを今後も大事にしていきたいと思います。

私は今年度5年生担任をさせていただき、主に年長児交流で園児たちと関わりました。残念ながらコロナ禍の影響で実際に出向いて交流することはできませんでしたが、5年生はそれでも「じゃあプレゼントを作ろう！」とやる気になって取り組んでいました。特に印象に残っているのは、プレゼントを贈る案を出したのが、普段あまり積極的にみんなの前で発言しつづけていた児童だったということです。他の児童もコロナ禍を言い訳にせず、できることをやろうという姿勢を見せてくれました。寶来先生のお話いただいた講演にも通ずるところがありますが、私が児童から教えられたような気持ちになりました。今回の幼小連携・接続研究事業を通して、5年生は来年度6年生になるんだという自覚が生まれたと感じました。

幼児教育施設を訪問したり、研修会や訪問時に先生方と話をしたりする中で、小学校に入学する前の子どもたちの姿が見え、子どもたちを伸ばしてこられた先生方との距離が縮まったように思います。夏の研修で、子どもたちの素敵などころを探していると、現在、目の前にいる小学生の姿と重なるところがたくさんありました。入学した子が、早く小学校に慣れるようにとばかり考えるのではなく、その子のよさがどうしたら小学校でより伸ばしていけるかを考えていきたいと思いました。

養護教諭という立場なので、これまでも入学前に一度は就学時健診で関わる機会はありませんでしたが、この幼小連携事業により、研修会や夏休みを利用して、直接保育所やこども園に行って子どもたちの様子を見させていただいたことは、児童理解にとってもプラスになりました。

また、今までこども園だけ実施していた就学時健診前の視力・聴力検査を斐伊保育所、四ツ葉学園保育所にも来校してもらい実施しました。

全園児と年3回は顔合わせをしたことになるのですが、特にこども園の子どもたちの中には、出会うと名前を呼んで話しかけてくれる園児が出てきました。これは、今までにはなかったことです。小学校を身近に感じられる取り組みを続けていくことができたらよいと思います。

幼小連携・接続研究事業を始める前は…

幼小連携・接続研究事業をやってみて



小学校に行くのは  
緊張する…

小学校や先生方を  
身近に感じられる  
ようになった！

先生と話すのは何だか  
気おくれしちゃう…

保育所（者）側の思いを  
伝えられるようになった！

●保育所（者）

学びになったことが  
たくさん！

小学校のことって  
よく分からない

食育でも連携が  
できた！

その他メリットが  
いっぱいだった！

### 【職員の感想】

- ・顔が分かる関係になり、そのことが接続に必要な要素だと感じた。
- ・小学校側から「いつでもきていいですよ」と言ってもらうことが、気軽に行き来できるためのポイントだと実感した。
- ・小学校の先生方が温かい目で子どもたちや担任を見てくださったり、保育所の活動を知ってもらったり、共感してもらったりしてうれしかった。
- ・0歳児のクラスも覗いてもらい、保育所の様子を見てもらえてよかった。
- ・10の姿で子どもの姿を語り合い、保育者自身が子どもの持つ力を再認識できる機会になり、たくさんの捉え方が聞けた。
- ・今まで何となく行きにくかったが、身近に感じる事ができた。
- ・幼児教育施設が小学校のことを知ることが安心感になり、子どもとのかかわりにいい影響をもたらした。
- ・漠然としていた小学校の生活を知ることができた。
- ・保育所でやっていることを知ってもらうことが、こんなにも自分自身の安心感や自信になるのだと感じた。
- ・これまでは「小学生になるから」と焦って送り出すような思いだったが、小学校の先生方が寄り添ってくださることを知ることができ、安心感につながった。
- ・幼児教育施設側からお願いができるようになった。（「保育所のクラスだよりを見てほしい」「学校の中を歩かせてほしい」「小学校の楽器を貸してほしい」など）
- ・年長児のお便りを小学校の先生方に見てもらったことで、子どものことや日頃の保育、保育者の願い等を知ってもらえてよかった。
- ・幼小の連携が保護者の安心感につながったのでは。
- ・栄養教諭の実習指導訪問がよかった。レシピ交換をしたことが献立の工夫にもつながった。学校給食の献立を作って見るなど食育でも連携をとることができた。子どもたちに食育をしている姿を見習いたい。
- ・栄養教諭と一緒に給食やおやつ作りをしてとても楽しかった。



【これからの幼小連携・接続研究事業について ～これからも幼小がつながっていくために～】

- 一つの活動を通して、一緒に教材を考えたりしてみることで、10の姿を捉え、実際に指導していく際の手立てを考えることができるかもしれない。
- 小学校に入り込んで、体験をさせてもらう。(給食、授業、学校図書館など)
- 学校給食の写真をたまに見せてもらう。
- 幼児教育施設へも、先生方の都合のよい時に短時間でも来てもらい、雰囲気や子どものしていることを見てもらえるといいと思う。
- 夏に1日保育士体験をしてもらって、午睡中に話をする時間を設けてはどうか。
- 互いの現場のことを知ることができることをしてみてもいい？(例えばお茶会など)
- 気さくに話ができる関係になれるようなことができればいいと思う。
- これからもレシピ交換をしていきたい。栄養教諭との情報交換の場があると嬉しい。

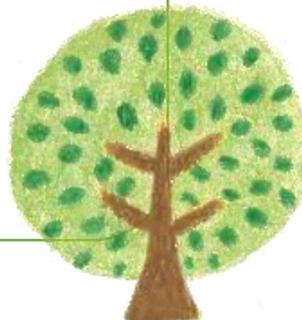


【今後の課題】

- 保護者を巻き込むような、保護者にしていることを知らせる努力が必要なのではないか。
- 保育所は全員が研修会に参加することができにくい。
- 小学校の先生方と顔なじみになる機会が全員等しくないのが課題である。
- 0歳児からの子どもの姿、ひいては発達的過程を見てもらう機会がもてるといい。



これからも  
「幼小連携・接続は大切だよ」  
という気持ちを  
つなげていこう  
共有していこう



# 幼小のつながり

雲南市立認定こども園 斐伊こども園

## うれしかったこと

主任

以前から興味があった「幼小の連携・接続」について取り組むことができてよかったです。一番うれしかったことは、幼小合同研修会の質問タイムで、小学校の先生が「一緒に研修をして心が洗われるような気がした。今後もこのような研修を続けるにはどうしたらいいでしょうか。」と質問されたことです。小学校の先生方に幼児教育を知ってもらい、幼児教育の良さを感じてもらうことが何よりうれしく、もっと頑張らなきゃ！とやる気が出てきました。



年長・1年生  
交流活動

あきいっばい  
たのしい  
おみせやさん

さかなつりやさん

## 燃えた対決！！

年中・年少組担任

連携・接続事業を始めた1年目。斐伊小学校校庭で運動会練習をしていた時のこと。小学生が、「一緒にやってもいいですか？」と聞いてきて、こども園 VS 小学生リレーと綱引き対決が始まった。業間の休憩時間いっぱい何回も対決をした。小学生が夢中になり汗だくで挑む姿に、園児も熱くなり本気で挑んでいった。時には小学校の先生も加わり盛り上がった。そのときからお互いの距離を近く感じるようになり、お互いに声を掛け合う姿が増えた。

気軽に話し、関わり仲良くなるのが連携・接続の第一歩だと、私は感じている。

## 幼小の連携を通して感じたこと

年長組担任

今年度から研究に参加し、小学校と3園の幼児教育施設の職員で研修会をして職員同士が気軽に話ができることがすごいことだと感じた。これまでは、小学校の幼小連携担当の先生の顔や名前はわかって、皆さんの顔を見たり話したりする機会はあまりなかったため、研究を通して職員同士の仲が深まり、会話がしやすくなったことは素晴らしい成果だと思った。また、今年は3園で年長のリレー対決を行った。縦と横の繋がりを今後も大事にしていきたい。



ダンス練習をする後ろでいっしょに踊る小学生

## つなげる・つながる

園長

小学校で退職し、こども園での勤務が3年目となります。私自身事業を通して、幼児教育についてたくさんのことを学びました。特に幼小合同研修会での学びはとても大きかったです。

小学校では、これまでも幼児教育施設との情報共有に取り組んできました。事前に情報を得て小学校での指導に活かすためです。だから情報以外の、その後ろにある保育士の皆さんの思い、関わり、願いはあまり見えなかった（見なかった…）と自戒を込めて振り返ります。

事業を通して、幼児教育と小学校教育への理解がうんと進みました。お互いに理解し合うことが、幼小をつなげる原動力になりました。大人のつながり、子どものつながり、遊びから学びへのつながりが、少しずつでも確かな歩みで広がり深まってほしいと考えています。

## 「幼小連携・接続研究事業で学んだこと、これからの願い」

四ツ葉学園保育所

### 年長児保育参観・保・こ・小連絡会

◎小学校の様々な先生方に子どもの様子、保育の様子を見ていただいたことで、子どもについての情報交換ができ、また子ども一人ひとりの気になる姿だけでなく、ステキな姿を見てもらうことができて良かった。子どもたちにとっても、自分が就学する先の先生が来てくれることはとても嬉しいことであり、就学への意欲につながり、期待が膨らんだように感じた。

正直なところ、“小学校の先生”と話をすることに気後れしてしまうことがあった。しかし、保育参観をしてもらう中で、気軽に話ができる時間が増えたことで交流が深まり、一緒に子どもを見守る者同士のつながりができたように思う。小学校が身近なものに変わった。

就学するにあたり、子どもだけではなく保護者の存在も大きく関わってくる。保護者の情報も提供できる時間が作れたことはとても良い機会であった。

### 合同研修会

◎保育公開をした上で、子どもたちの姿をみんなで振り返りながら、斐伊小学校の「めざす子ども像」で整理したり、10の姿に当てはめたりしながら研修できた経験は、自分たちの保育を振り返り、見直す良い機会となった。また、小学校側の意見、保育所の意見と交換する中で、もちろん考え方の違いもあったが、お互いにそれがまた新たな発見でもあり、学びの一つとなったことは、幼小連携を進める上で大きな意味であるように感じた。教育の仕方は違うものの、子どもを見守ることに変わりなく、お互いに思いを寄せ合うことで、より子どもの関わり方で大切なことが学べたように思う。

反省会にて、研修会を行うにあたって、保育所側の資料作成が負担に感じるのではないかと、という意見もあった。研修会の必要性はあるものの、保育者の負担が、一番重要な日頃の保育に支障をきたすことがないように、今後の資料の作り方を考えていく必要があるのではないかと感じた。

研修会の中で、斐伊小学校区のカリキュラムの、接続前期(就学前)→接続中期(4月～)→接続後期を学ぶ機会があり、就学前に必要な事を再確認することができた。また自分たちの保育が、就学した後にどのような働きをするのか知ることができ、改めて責任を痛感したと同時にやりがいも感じることもできた。

### ～♡これからの願い♡～

・自園は、研究事業、研修等、まだまだ学びが必要である。今回の研修会に参加させてもらう度に自分たちのスキルを上げることができた。研究が全てではなく、日頃の保育を充実させることが一番大切だと思うが、充実させるためにはやはり“学ぶ”ことは大切である。子どもたちが、就学して一つ一つ学んでいくのと同じように、初心を忘れず、学ぶ事を続けていきたい。そう思うことができたのも、この研究事業に参加させてもらったおかげである。

・毎年環境が変わる中で、一つの事を続けていくことは簡単なことではない。ただ、思いを引き継ぐことで、一番大切なものはきちんと残っていくように思う。形は変わったとしても、2年間の様々な“つながり”は今後もみんなで大切にしていけたらいいと思う。

・研究事業に参加させてもらう中で、保育者・教職員、みんなの“子どもたちのために”という思いを強く感じた。就学は子どもたちにとって、とても大きな階段をのぼることである。階段を自分で力強くのぼれる子、少し支えがいる子、様々な子がいる中で、その階段の段差を少しでもゆるやかにしてあげるためには、大人の手助けが必要不可欠であると感じている。その“大人の手助け”がまさに、“幼小連携事業”であると思う。この事業が、木次地区だけでなく、多くの地区に広がり、就学前の子どもたちの不安が少しでも和らぎ、キラキラの笑顔で就学を迎えられることを願っている。

令和4年度 斐伊小学校 スタートカリキュラム 4月入学後 1週目

◎ 学校生活や先生などに親しみをもつとともに、学校のルールや部屋や物の使い方を学び、学校での生活に慣れることができる。

	1週目ー1	1週目ー2	1週目ー3	1週目ー4	1週目ー5	備考
朝の活動 朝の会	お絵かき (じゅう帳)	お絵かきまたは読み聞かせ (6年生)	読み聞かせ等 (6年生)	読み聞かせ等 (6年生)	読み聞かせ等 (6年生)	
1	入学式への 心構え	○お絵かき(じゅう帳) ○ランドセルのしまい方 ○ロッカーの入れ方 ○提出物の出し方 ○けいさつやトイレのつかいかたをしろう ○下駄箱の使い方・トイレの使い方 <生活><学活>	○お絵かきまたは読み聞かせ (6年生) ○あさのけいさつやトイレのつかいかたをしろう ・朝の会の仕方 ・明るいあいさつ ・学習用具のしまい方 ○ともだちどなかよくたのびよう ・友だちと仲良し (*音楽) <学活><音楽>	○読み聞かせ等 (6年生) ○えんぴつやじょうぶにつかおう ・正しい姿勢 (あし・ひざ・びん・どん) ・教科書の持ち方 ・鉛筆で線を引く。 (*図工) ・色をぬらう。 (*国語)	○このころのきょうかきやまじいよ ・担任の絵本の読み聞かせを聞く。 ・教科書「さあ はじめよう」を見てお話を考えよう。 ・教科書を読んでもらう。 <国語>	○朝の準備は、これまでの経験を生かし、自分でやってみる。様子を見守りつつ、6年生のサポートが必要であれば、6年担任と相談してサポートの仕方を決める。  ○朝の活動内容は、児童の様子を見て決める。6年生の読み聞かせ、クイズ等がよい場合は、6年担任と相談して開始期日や内容を決める。  ○時間割の教科書の内容は、行事以外に変更可。  ○学校行事については、日時の変更有  ○なかよし班編成に児童の志願も関係してくるため、早い時期に体育で走る活動を入れる。
2	入学式	○きょうかきとあいさつのできるかな? ・あいさつと返事の仕方 ・友だちに自己紹介をしよう。 (*生活) ○おもちゃどなかよくたのびよう ・たのびよう ・知っている歌を歌おう。 ・体を動かして、じゃんけんゲームをしよう。(身体表現) (生活) (音楽) (体育)	○遊ぶのにおおえをがこう ・自分の意志をかく。 ・クレヨンで自由にかく。 <図工>	○がっこうにあるおはやくやをたんけんしよう (保健室、職員室、校長室) ・保健室、職員室、校長室の人の方 ★「学校生活のやくそく」をともに指導する。 「失礼します。〇年〇〇です。」 「〇〇先生に用事がありました。」 「失礼しました。」 ★担任と養護教諭の机の場所を必ず教える <生活><国語>	○しんがたいそくていをししよう ・身長・体重 ・体熱眼に着替える。 <学校行事>	○給食は、最初は他の学年よりも早めに準備をして食べる。12:00頃から手洗いや準備を始める。配膳は、他の職員(栄養教諭、校務技師等)に任せよう。  ★VTRで2年生の準備、食事、片付け、歯磨きの様子を見せるとして、給食の流れのイメージをつかかせ。  ★養護教諭の指導が有効である。(写真、絵の活用)  ○連絡帳は、当分は保護者との連絡のために使う。予定や持ち物、下校時刻等の連絡事項は、学級だよりに伝える。
業 間		○遊ぶのすきなばいよ、おもちゃやおにがいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※ 子どもの行動を見取る。 <休み時間のうちにトイレにいくことを意識づける。>				
3	○ろうかのあるきかた、ならびかたをしろう ・ろうかの歩き方 ・並び方 (出席簿)	○けいさつならびかたをしろう ・下校時の並び方 (自宅、児童クラブ)  ○かえりのじゅんぴをししよう ・ランドセルの準備の仕方 ・配布物のしまい方 (連絡袋に入れること) <学活><生活>	○ちがいにいこうのおおきさをしろう。 ・声の大きさを使って、場所合った声の大きさを調べる。 ・国語の教科書を讀んでみる。 <国語><学活>	○しつがかりのじゅんぴをしろう (校庭または体育館) ・かけっこ (タイムを計る) ※なかよし班編成に関わるため <体育>	○きょうかきやまじいよにならう ・みんながさくらさくらをいこう ・給食名人について知ろう。 ・給食名人についてどんな人かな ・給食の当番の仕方を知ろう	○下校先ごとに下校班をつくる。 ※児童クラブへ帰る児童は、人間関係や安全面を配慮し男女混合の班が望ましい。 (1~2年で4班編成)  ★年度当初の学級事務の内容(準備物、名札の作成等)を一覧表にまとめ、チェックできるようにしておく。
4	※3時間授業	※3時間授業	○きょうかきやまじいよにならう ・ランドセルに行く。 ・自分の席を知る。 ★あらかじめテーブルに名前シールを貼っておく。 ・給食の話を聞く。 ・歯磨きの仕方 <学活>	○きょうかきやまじいよにならう ・みんながさくらさくらをいこう ・給食名人について知ろう。 ・給食名人についてどんな人かな ・給食の当番の仕方を知ろう	○下校先ごとに下校班をつくる。 ※児童クラブへ帰る児童は、人間関係や安全面を配慮し男女混合の班が望ましい。 (1~2年で4班編成)  ★年度当初の学級事務の内容(準備物、名札の作成等)を一覧表にまとめ、チェックできるようにしておく。	
給 食		1年生だけ給食なし	○たのしくきょうかきをたべよう ・苦手なものや量が多い場合は、食べる前に減らす。 ・給食の食べ方 (しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・歯磨きをしろう。	○きょうかきやまじいよにならう ・みんながさくらさくらをいこう ・給食名人について知ろう。 ・給食名人についてどんな人かな ・給食の当番の仕方を知ろう	○下校先ごとに下校班をつくる。 ※児童クラブへ帰る児童は、人間関係や安全面を配慮し男女混合の班が望ましい。 (1~2年で4班編成)  ★年度当初の学級事務の内容(準備物、名札の作成等)を一覧表にまとめ、チェックできるようにしておく。	
昼 休 み			○遊ぶのすきなばいよ、おもちゃやおにがいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※ 子どもの行動を見取る。			
5			○いっしょにがっこうにくるおにがいさん、おねえさんをしろう ★班長が1年教室まで迎えに行き、園児児童会の先生、メジャーとの顔合わせ ・園児児童会の確認、めあてを決める <道徳> <学活>	○いっしょにがっこうにくるおにがいさん、おねえさんをしろう ・みんながさくらさくらをいこう ・みんながさくらさくらをいこう (園児児童会) を使って、いろいろな名刺を知る。元気づけたい名刺になるひみつ・あいさつ名人になるひみつ <道徳> <学活>	○おねえさんやまじいよのじゅんぴをししよう ・登校後、ランドセル前での手洗い (登校前の班長が連れて行くことを指導しておく。) ・登校後、教室で名札をつけること ・ランドセルの中のもの(連絡帳等)の提出の仕方 ・給食セットの置き場所 ・おたより等を連絡袋に入れること	★特別支援学級担任との連携を図る。  ★はじめのことへの配慮 ・登校後、ランドセル前での手洗い (登校前の班長が連れて行くことを指導しておく。) ・登校後、教室で名札をつけること ・ランドセルの中のもの(連絡帳等)の提出の仕方 ・給食セットの置き場所 ・おたより等を連絡袋に入れること
朝 日 会		○遊ぶのすきなばいよ ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 ・ランドセルの準備 教員と一緒に1年生で下校 (途中まで教員がついて下校) 学校出発 11:30頃	○遊ぶのすきなばいよ ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 ・ランドセルの準備 地区ごとに集団下校 (途中まで教員がついて下校) 学校出発 15:10	○遊ぶのすきなばいよ ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員がついて下校)		
下 校	保護者と一緒に下校	教員と一緒に1年生で下校 (途中まで教員がついて下校) 学校出発 11:30頃	地区ごとに集団下校 (途中まで教員がついて下校) 学校出発 15:10	2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員がついて下校)		

令和4年度 斐伊小学校 スタートカリキュラム 4月入学後 2週目

◎学校たんけんなどを通して学校の様子や使い方を、関心をもつことができる。

	2週目-1	2週目-2	2週目-3	2週目-4	2週目-5	備考	
朝活動 朝の会	読み聞かせ等 (6年生) ○じょうずになびびつをたてよう ・絵巻の縁のおけいこをしよう ・できたもうらに色をぬろう <国語><図工>	読み聞かせ等 (6年生) ○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話を考えよう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	読み聞かせ等 (6年生) ○ごごのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	読み聞かせ等 (6年生) ○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵をみて考えよう ※絵とブロックで1対1対応させる ・ひらがなをわけるよつつかを考えよう ・数字をかいてみよう <算数>	読み聞かせ等 (6年生) ○かみしばいはんびびをたてよう ・自分のなかにかみしばいをしよう ※絵とブロックの練習をしよう <生活><国語>	○朝の活動内容は、児童の様子を見て決める。6年生の読み聞かせの場は、6年担任と相談して実施期間や内容を決める。 ★月曜日の下校時刻 14:45 ★火曜日から金曜日のうち一日(水曜日)は、2年生が6校時授業のため、1年生だけの下校になる。 ○心電図検査がある場合、時間が延びることがある。全員揃っての授業ができない場合、自由帳のお絵かき等をして待つことよ。	
1	○たいていかんづいてはなごころかな？ ・体育館への行き方を知る。 ・体育館の時の約束を聞く。 ・体育館での約束を聞く。 ・おにごっこをしよう。 <体育>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵をみて考えよう ※絵とブロックで1対1対応させる ・ひらがなをわけるよつつかを考えよう ・数字をかいてみよう <算数>	○かみしばいはんびびをたてよう ・自分のなかにかみしばいをしよう ※絵とブロックの練習をしよう <生活><国語>	○朝の活動内容は、児童の様子を見て決める。6年生の読み聞かせの場は、6年担任と相談して実施期間や内容を決める。 ★月曜日の下校時刻 14:45 ★火曜日から金曜日のうち一日(水曜日)は、2年生が6校時授業のため、1年生だけの下校になる。 ○心電図検査がある場合、時間が延びることがある。全員揃っての授業ができない場合、自由帳のお絵かき等をして待つことよ。	
2	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵からお話の場面を話そう ・同じ種類のものに数図ブロックを置いてみよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵をみて考えよう ※絵とブロックで1対1対応させる ・ひらがなをわけるよつつかを考えよう ・数字をかいてみよう <算数>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・教科書の挿絵をみて考えよう ※絵とブロックで1対1対応させる ・ひらがなをわけるよつつかを考えよう ・数字をかいてみよう <算数>	○かみしばいはんびびをたてよう ・自分のなかにかみしばいをしよう ※絵とブロックの練習をしよう <生活><国語>	○朝の活動内容は、児童の様子を見て決める。6年生の読み聞かせの場は、6年担任と相談して実施期間や内容を決める。 ★月曜日の下校時刻 14:45 ★火曜日から金曜日のうち一日(水曜日)は、2年生が6校時授業のため、1年生だけの下校になる。 ○心電図検査がある場合、時間が延びることがある。全員揃っての授業ができない場合、自由帳のお絵かき等をして待つことよ。
業間	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。	
3	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。
4	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○はだちとわがわがくつたつたからだぞうかしてりしよ ・知っている歌を歌おう。 ・じゃんけん列車をしよう。(身体表現) ・体を動かそう。(身体表現) <音楽><体育>	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。
給食	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○たのしくきゅうしよをたべよう ・苦手なものや量が減らす。 ・給食の食べ方(しゃべらずに、前を向いて食べる。時間内に食べる。等)に気を付けて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。	○時間割の教科書や内容は、行事や児童会活動以外には変更可。 ○学校図書館の使い方についての日時は、学校司書と相談して決める。 ○初めての帰校は、リーダーが1年生を教室まで迎えに行く。 ○フッ化物洗口の仕方の指導(給食後、給食セットを教室の自分の机の上に置いておくこと)
昼休み	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいしよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。	
5	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○さんすうのきまじょうでべんきょうしよう ・先生の読み聞かせを聞こう ・ひらがなのなな川に色をぬろう <国語><図工>	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。
掃りの会	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (月曜日 14:45) (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。	
下校	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○じぶんでかえりのじゅんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備 2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (途中まで教員もついて下校)	○なにより班開きについて、自己紹介等で配慮が必要な場合も想定し、その対応について事前に6年生担任に伝えておく。6年生にも1年生へのサポートの仕方について指導しておくことよ。 ※インタビューの答えを一覧表にし、6年生に渡しておく。

令和4年度 斐伊小学校 スタートカリキュラム 4月入学後 3週目

◎教科の学習に取り組む中で学校生活のリズムに慣れ、勉強や遊びにがんばって取り組むことができる。

	3週目-1	3週目-2	3週目-3	3週目-4	3週目-5	備考
朝の活動 朝の会	読み聞かせ(6年生)	読み聞かせ(6年生)	読み聞かせ(6年生)	読み聞かせ(6年生)	読み聞かせ(6年生)	
1	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あいうえおのうた」を読もう ・ことばあつめをしよう ・ひらがなを書こう <国語>	○さんすうのきようかしよでべんきようしよう ・「かずとすうじ」 ・おなじかずのなかまをさがそう (6~10) <算数>	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あめですよ」を読もう ・ひらがなをかこう <国語>	○さんすうのきようかしよでべんきようしよう ・かずをかぞえよう ・せんでむすぼう <算数>	○さんすうのきようかしよでべんきようしよう ・6はいくつといくつ ・おはじきをつかって考えよう <算数>	○朝の活動内容は、児童の実態を見て決める。(お絵かき、読書等)6年生の読み聞かせ等がよい場合は、6年担任と相談して実施期間や内容を決める。 ○生活科「なかよしかいをしよう」では、内容について事前に2年生担任に確認しておく。 ○学校図書館での約束、本の借り方の指導については、事前に学校司書と打ち合わせしておく。
2	○たのしくからだをうごかせよう ・「あいうえおのうた」を読もう ・ことばあつめをしよう ・ひらがなを書こう <国語>	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「かずとすうじ」 ・ことばあつめをしよう。 ・ひらがなを書こう <国語>	○さんすうのきようかしよでべんきようしよう ・「かずとすうじ」 ・6~10のかずをかこう <算数>	○なかよしかいをしよう ・2年生の話をよく聞いて、楽しく参加しよう ・2年生の名前を覚えよう <生活>	○たのしくからだをうごかせよう ・「あいうえおのうた」を読もう ・ことばあつめをしよう ・走ろう <体育>	○生活科「なかよしかいをしよう」では、内容について事前に2年生担任に確認しておく。 ○学校図書館での約束、本の借り方の指導については、事前に学校司書と打ち合わせしておく。
業間	○じぶんのすきなばいよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ○3校時に体育があるときは、着替える。	○じぶんのすきなばいよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。 ◇休み時間のうちにトイレにしておくことを意識づける。	○ねんどどなかよしになろう ・ねじったり、のばしたり、まるめたりしよう ・すきなものをつくろう <図工>	○なかよしかいをしよう ・2年生の話をよく聞いて、楽しく参加しよう ・2年生の名前を覚えよう <生活>	○がっこうとしよかんのつかいかたをしよう ・学校図書館へ行ってみよう ・学校図書館での約束や本の借り方を教えてもらおう ・本を借りてみよう <国語><生活>	○火曜日から金曜日のうち一日(水曜日)は、2年生が6校時授業のため、1年生だけの下校になる。 ○赤組・青組・黄組のメンバーが決定したら、1年生の給食当番が始める。 ★生活科「じこしようかいをしよう」は、5月連休明けに計画する。休み時間に、児童が職員にサインを求めてくるため、対応してもらうことを事前に職員にお願ひしておく。
3	○さんすうのきようかしよでべんきようしよう ・「かずとすうじ」 ・5はいくつといくつ ・おはじきを使って考えよう	○たのしくからだをうごかせよう ・「ぞうさん」「こぶたぬきつねこ」「犬のおまわりさん」を歌おう ・身体表現をつけて歌おう ・リズム遊びをしよう <音楽>	○ねんどどなかよしになろう ・ねじったり、のばしたり、まるめたりしよう ・すきなものをつくろう <図工>	○なかよしかいをふりかえろう ・なかよしかいで楽しかったことを絵や文でかこう <国語><生活>	○たのしくうたうたりおどったりしよう ・「ぞうさん」「こぶたぬきつねこ」「犬のおまわりさん」を歌おう ・身体表現をつけて歌おう ・リズム遊びをしよう <音楽>	
4	○たのしくうたうたりおどったりしよう ・「ぞうさん」「こぶたぬきつねこ」「犬のおまわりさん」を歌おう ・身体表現をつけて歌おう ・リズム遊びをしよう <音楽>	○給食の準備をしよう ・給食当番はエプロンに着がえて当番をしよう ・当番以外は、セルフで配膳しよう	○ねんどどなかよしになろう ・ねじったり、のばしたり、まるめたりしよう ・すきなものをつくろう <図工>	○なかよしかいをふりかえろう ・なかよしかいで楽しかったことを絵や文でかこう <国語><生活>	○たのしくうたうたりおどったりしよう ・「ぞうさん」「こぶたぬきつねこ」「犬のおまわりさん」を歌おう ・身体表現をつけて歌おう ・リズム遊びをしよう <音楽>	
給食	○たのしくきゅうしよくをたべよう。 ・給食の食べ方に気をつけて食べよう。 ・給食の片付けをしよう。 ・歯磨きをしよう。 ・菌除けとテーブル拭きをしよう。(交代で)	○給食の準備をしよう ・給食当番はエプロンに着がえて当番をしよう ・当番以外は、セルフで配膳しよう	○ねんどどなかよしになろう ・ねじったり、のばしたり、まるめたりしよう ・すきなものをつくろう <図工>	○なかよしかいをふりかえろう ・なかよしかいで楽しかったことを絵や文でかこう <国語><生活>	○たのしくうたうたりおどったりしよう ・「ぞうさん」「こぶたぬきつねこ」「犬のおまわりさん」を歌おう ・身体表現をつけて歌おう ・リズム遊びをしよう <音楽>	
昼休み	○じぶんのすきなばいよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。 ※子どもの行動を見取る。	○じぶんのすきなばいよで、ともだちやおにいさん、おねえさんたちとあそぼう。	○えんぴつをつまみかきよう ・字を書くときの姿勢に気をつけよう ・字の書き始めと書き終わりに気をつけて書こう <書写>	○どうとくのほんでべんきようしよう ・「じゆきようがはじまりますよ」を読んで時間を守ることについて考えよう <道徳>	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あめですよ」を様子を思い浮かべながら読もう ・ひらがなを書こう <国語>	
5	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あいうえおのうた」を読もう ・ことばあつめをしよう ・ひらがなを書こう <国語>	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あめですよ」を読もう ・ひらがなをかこう <国語>	○えんぴつをつまみかきよう ・字を書くときの姿勢に気をつけよう ・字の書き始めと書き終わりに気をつけて書こう <書写>	○どうとくのほんでべんきようしよう ・「じゆきようがはじまりますよ」を読んで時間を守ることについて考えよう <道徳>	○くごのきようかしよでべんきようしよう ・「あめですよ」を様子を思い浮かべながら読もう ・ひらがなを書こう <国語>	
帰りの会	○じぶんでかえりのじゆんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備	○じぶんでかえりのじゆんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備	○じぶんでかえりのじゆんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備	○じぶんでかえりのじゆんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備	○じぶんでかえりのじゆんびをしよう ・連絡帳、配布物を連絡袋に入れる。 ・ランドセルの準備	
下校	2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃 (月曜日 14:45)	2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃	1年生だけで下校 学校出発 15:15頃	2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃	2年生と一緒に下校 学校出発 15:15頃	

令和4年度 斐伊小学校区 幼小接続カリキュラム

期	接続前期	接続中期	接続後期	斐伊小学校の めざす子ども像
月	就学前（9月～3月）	4月～GW	GW～7月	
いろいろな不思議やおもしろい出来事に関心をもち、友達と一緒に考えたり、試したりする。	幼児期に身に付けたことを生かしながら学習や生活をしようとする。	絵や図、言葉や文など、いろいろな方法で自分の思いや考えを表現しようとする。	相互の考えを聞き合いながら学習活動を進めようとする。	学び合う子 伝え合い、学び合う子
文字や数字に関心を深め、遊びや生活に生かそうとする。	学習用具の準備や後片付けなど、自分のことが自分でできるようになる。	互いの考えを聞き合いながら学習活動を進めようとする。		
自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えようとする。	新しい友達や先生、上級生、地域の方など、様々な人と触れ合うことを楽しみにする。	トラブルになったとき、自分たちで解決しようとする。		
友達と共通の目的を実現させるために、工夫したり、協力したり、最後までやり遂げようとする。	学校の約束や決まりを知り、良いことと悪いことを考えながら行動しようとする。			
自分なりのめあてをもって進んで挑戦しようとする。	新しいことや当番活動を友達と協力して行う。			
相手の話をよく聞いて気持ちを分かろうとする。	上級生にあこがれをもって遊びをまねしたり、一緒にしたりする。			
ルールを守って過ごす楽しさを知り、友達と折り合いをつけながら心地よい生活を送ろうとする。	給食を好き嫌いなく食べようとする。			
当番活動に進んで取り組む。	小学校での過ごし方(生活リズムや場所など)に慣れ、楽しく学校生活を送ろうとする。			
年下の子に思いやりをもって関わる。	一日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。			
自分でできることは自分でしようとする。				
気持ちのよいあいさつや返事をしようとする。				
気持ちのよい言葉を使おうとする。				
苦手な物も自分から食べてみようとする。				
思い切り体を動かし、友達と一緒に力を合わせたり競い合ったりして楽しむ。				
就学への期待をもち、意欲的に生活を進めようとする。				
生活に見通しをもち、場や状況に応じた行動をとろうとする。				
10月：運動会 10月：木次町5歳児交流会 11月：年長児-1年生交流 11月：就学時健康診断 12月：クリスマス会	☆斐伊小版スタートカリキュラム【別紙】 4月：入学式 4月：集団登校開始	5月：なかよし班開き 5月：なかよし運動会	元気な子 自律的で、 心身ともに元気な子	